



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <https://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員経営企画部長 (氏名) 北川 尚作 (TEL) 073-471-0511
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	21,863	△16.8	△9,793	—	△9,520	—	△11,281	—
2024年3月期第3四半期	26,282	△2.1	758	—	1,198	—	985	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △8,995百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 3,381百万円(72.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△326.82	—
2024年3月期第3四半期	28.55	28.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	103,385	82,591	79.8
2024年3月期	107,804	91,926	85.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 82,551百万円 2024年3月期 91,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2025年3月期	—	5.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	△10.9	△11,400	—	△11,200	—	△13,300	—	△385.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	35,800,000株	2024年3月期	35,800,000株
2025年3月期3Q	1,281,684株	2024年3月期	1,283,801株
2025年3月期3Q	34,517,708株	2024年3月期3Q	34,515,848株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(会計上の見積りの変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
3. 補足情報	12
受注及び販売の状況	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における経済の動向は、わが国においては設備投資に持ち直しの動きが見られるなど景気は緩やかに回復傾向にある一方、欧米の金融引き締めによる景気後退懸念や中国経済の減速など、世界経済は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループは新中期経営計画「Ever Onward 2026」の実現に向け、重点施策である「経営基盤の再構築」「ソリューションビジネスの確立」「横編機事業の再生」「自動裁断機事業の拡大」という4つの取り組みをスタートさせ、顧客の「サステナブルなモノづくり」を支援する各種製品・サービス・ソリューションの提案活動を世界各地で展開しました。10月に中国の上海で開催されたアジア最大の繊維機械展「I TMA A S I A + C I T M E 2 0 2 4」では、最新のホールガーメント横編機（SWG-XR[®]22LL、N.SVR[®]183V24G）、中国市場のニーズに合ったウルトラファインゲージを効率よく編成できる成型編機N.SVR[®]122V22G（プロトタイプ）や最新ニットサンプルを展示し、生産効率向上とともにデザインの多様化を実現できる製品の優位性を訴求しました。

当社のコア・ビジネスである横編機事業は、アジア地域では、主要マーケットである中国市場において景気回復の遅れから内需向けの設備投資は低調であり、香港大手顧客による東南アジアの生産拠点に向けた生産効率の高い「N.SVR[®]」など主力機種の販売が中心となりましたが、横編機全体の売上高は減少しました。先進国向けニット製品の生産拠点であるバングラデシュは、主な輸出先のEU市場の消費低迷に加えて、7月中旬以降の大規模な反政府デモから生産工場の操業停止によりサプライチェーンが停滞し、顧客の設備投資時期の遅れにより販売台数が前期に比べ減少しました。

欧州のイタリア市場においては、景気減速に加え昨年の暖冬の影響から有名アパレルブランドなど市場全体の設備投資意欲が減退しホールガーメント横編機、成型編機ともに販売台数が減少しました。また中東のトルコ市場においても、国内アパレルブランドの需要減少やEU市場の景気減速によりファストファッションアパレルからの受注が低調となり、コンピュータ横編機は前期に比べ売上高が減少しました。これらの結果、横編機事業全体の売上高は147億65百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

デザインシステム関連事業においては、欧米、国内の大手アパレルブランドを中心にSDS[®]-ONE APEXソフトウェアのサブスクリプションサービスである「APEXfiz[®]」のライセンス契約数が新規・更新ともに伸長しましたが、自動裁断機「P-CAM[®]」については販売台数が減少し、売上高は21億79百万円（前年同期比19.0%減）となりました。

手袋靴下編機事業は、海外大手ユーザーの設備投資が伸長し売上高は5億67百万円（前年同期比248.5%増）となりました。その他事業につきましては、売上高は43億50百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間全体の売上高は218億63百万円（前年同期比16.8%減）となりました。利益面におきましては、売上高の減少や棚卸資産評価損および貸倒引当金繰入額を計上したことにより、営業損失97億93百万円（前年同期は営業利益7億58百万円）、経常損失95億20百万円（前年同期は経常利益11億98百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失112億81百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益9億85百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金の減少などで前連結会計年度末に比べ44億18百万円減少し、1,033億85百万円となりました。負債合計は、短期借入金の増加などで前連結会計年度末に比べ49億17百万円増加し、207億94百万円となりました。また自己資本の額は、825億51百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて5.4ポイント低下し79.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、主力市場であるバングラデシュの政情不安による現地の事業環境や世界的な景気減速を受け、先行き不透明感が強く、業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、前回予想（2024年5月10日公表）を据え置いていましたが、本日（2025年1月31日）25年3月期の通期連結業績予想を公表いたしました。詳細につきましては、「棚卸資産評価損、貸倒引当金繰入額、為替差損、減損損失の計上及び業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,822	15,548
受取手形及び売掛金	45,502	34,202
商品及び製品	13,526	14,392
仕掛品	841	964
原材料及び貯蔵品	11,929	13,136
その他	1,532	1,472
貸倒引当金	△4,135	△1,562
流動資産合計	84,019	78,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,213	5,759
土地	6,583	6,360
その他（純額）	2,268	1,885
有形固定資産合計	15,066	14,005
無形固定資産		
	152	73
投資その他の資産		
投資有価証券	5,493	6,404
破産更生債権等	2,411	12,115
退職給付に係る資産	1,202	1,196
繰延税金資産	589	249
その他	1,261	1,379
貸倒引当金	△2,392	△10,193
投資その他の資産合計	8,566	11,150
固定資産合計	23,785	25,230
資産合計	107,804	103,385

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,867	2,031
電子記録債務	768	660
短期借入金	2,500	8,600
リース債務	673	561
未払法人税等	242	65
契約負債	1,734	1,425
賞与引当金	1,328	584
債務保証損失引当金	80	41
その他	2,639	2,742
流動負債合計	11,836	16,712
固定負債		
長期未払金	53	44
リース債務	836	731
繰延税金負債	865	1,004
退職給付に係る負債	1,997	2,015
その他	287	286
固定負債合計	4,040	4,081
負債合計	15,877	20,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	23,422	23,420
利益剰余金	46,236	34,610
自己株式	△3,919	△3,912
株主資本合計	80,599	68,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,702	2,418
土地再評価差額金	33	33
為替換算調整勘定	10,319	11,804
退職給付に係る調整累計額	△766	△684
その他の包括利益累計額合計	11,290	13,573
新株予約権	16	13
非支配株主持分	21	26
純資産合計	91,926	82,591
負債純資産合計	107,804	103,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	26,282	21,863
売上原価	15,237	15,344
売上総利益	11,044	6,519
販売費及び一般管理費	10,285	16,312
営業利益又は営業損失(△)	758	△9,793
営業外収益		
受取利息	417	537
受取配当金	160	214
その他	345	164
営業外収益合計	923	916
営業外費用		
支払利息	14	28
為替差損	439	585
固定資産賃貸費用	27	20
その他	2	9
営業外費用合計	483	644
経常利益又は経常損失(△)	1,198	△9,520
特別損失		
固定資産除売却損	—	50
減損損失	—	1,247
特別損失合計	—	1,298
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,198	△10,818
法人税、住民税及び事業税	199	126
法人税等調整額	12	333
法人税等合計	212	459
四半期純利益又は四半期純損失(△)	986	△11,278
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	985	△11,281

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	986	△11,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	454	716
為替換算調整勘定	2,595	1,485
退職給付に係る調整額	△654	82
その他の包括利益合計	2,395	2,283
四半期包括利益	3,381	△8,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,380	△8,997
非支配株主に係る四半期包括利益	0	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(棚卸資産の評価基準の変更)

当社は、棚卸資産の評価基準については、製造又は取得後一定期間を超えて保有する棚卸資産について、処分価額を個別に見積もり、帳簿価額を切り下げておりますが、コロナ禍以降の生産部材不足、材料価格の高騰や最近の当社製品の受注状況の変化に伴う棚卸資産の保有状況に鑑み、棚卸資産に係る収益性の低下の事実をより適切に財政状態及び経営成績に反映させるため、当第3四半期連結会計期間において、一定の回転期間を超えて保有する材料については規則的に帳簿価額を切り下げる方法に変更しております。

この変更により、従来の方と比べて、当第3四半期連結累計期間の売上原価が17億37百万円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が同額増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
一時点で移転される財	18,674	2,689	162	21,526	4,551	26,077
一定の期間にわたり移転 されるサービス	—	—	—	—	204	204
顧客との契約から生じる 収益	18,674	2,689	162	21,526	4,755	26,282
外部顧客への売上高	18,674	2,689	162	21,526	4,755	26,282
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	18,674	2,689	162	21,526	4,755	26,282
セグメント利益又は 損失(△)	3,301	720	△3	4,018	1,197	5,215

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,018
「その他」の区分の利益	1,197
全社費用(注)	△4,456
四半期連結損益計算書の営業利益	758

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
一時点で移転される財	14,765	2,179	567	17,513	4,133	21,647
一定の期間にわたり移転 されるサービス	—	—	—	—	216	216
顧客との契約から生じる 収益	14,765	2,179	567	17,513	4,350	21,863
外部顧客への売上高	14,765	2,179	567	17,513	4,350	21,863
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,765	2,179	567	17,513	4,350	21,863
セグメント利益又は 損失(△)	△4,511	140	△6	△4,377	△428	△4,805

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△4,377
「その他」の区分の損失	△428
全社費用(注)	△4,987
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△9,793

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

【関連情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
5,255	6,151	1,803	11,754	1,317	26,282

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
3,987	4,855	1,541	9,902	1,576	21,863

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	全社・消去	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計			
減損損失	1,052	140	34	1,227	20	—	1,247

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	711百万円	916百万円

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期 増減率	受注残高	前年同四半期 増減率
横編機	17,207	19.8%	6,187	67.5%
デザインシステム関連	2,268	△7.4%	461	12.5%
手袋靴下編機	443	△0.1%	176	△45.4%
合計	19,919	15.4%	6,825	54.1%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期増減率
横編機	14,765	△20.9%
デザインシステム関連	2,179	△19.0%
手袋靴下編機	567	248.5%
その他	4,350	△8.5%
合計	21,863	△16.8%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。